

親子三代 九里です

- 渡部 マツさん (旧姓 竹内 S33年卒)
- 渡部 良子さん (旧姓 横田 H2年卒)
- 渡部 愛さん (2年生)



今回は関にお住まいの渡部さんにクリスマス寒波の中、学校まで足を運んで頂きお話を伺いました。マツさんが卒業アルバムの中からとても貴重な物をお持ち下さいました。それは九里とみ先生、蒲生、黒金両校長先生、九里茂三先生の写真でした。若かりし頃の茂三先生の精悍で美男子な写真にとても感動しました。

昭和三十二年当時は被服科、商業科各二クラスで、被服科だったマツさんは和裁洋裁文化刺繍などの勉強にがんばっておられたそうです。文化刺繍の額を大切にしておられるそうで、それはすごいお宝です。すよね！またスキー授業があり、御成山までスキーをかついで歩いたそうです。どんなスタイルで滑っていたのでしょうか？

良子さんはフォークソング部と文芸部掛け持ちで、

とても忙しい高校生活でした。平成元年の頃はブロック制で選択コースだったのでクラスの皆と一緒にいるのはホームルームだけ、部活の友達の方が仲良しで楽しかったのですが、クラブの部活の時はすごい団結力だったそうです。

部活で遅くなった愛さんを迎えに出た時のこと、愛さんを送ってきたくださった上村先生にびっくり！良子さんが文芸部の時の顧問の先生だったので。愛さんは現在新聞部で活躍中ですが、母子で顧問の先生が同じだったのです。とても不思議な縁を感じたそうです。



より強く

九里ソフトボール部

長い歴史と伝統を持つソフトボール部です。現在、二年生六名、一年生十一名で毎日元気に活動しています。夏は灼熱の太陽の下で、真っ黒になって練習に励み、シーズン中は遠征や合宿で心・技・体を鍛えてきました。保護者をはじめ多くの方のご協力により、新人戦では数年前ぶりに地区大会優勝を収めることができました。ソフトボール部に関わって下さっている方々に、改めて感謝申し上げます。県大会では、ベスト8という成績でしたが、ベスト4の壁、インターハイ出場を乗り越えるよう、今よりもっと強い九里ソフトボール部を目指していきます。

(顧問 佐藤 健太 記)

九里祭参加 同窓生作品展

若い卒業生が、カレー屋さんをしました。美味で、完売しました。作品展では、明治四十三年卒業生の刺繍、雛形、手芸品を展示、当時間が偲ばれました。絵画、書、ちぎり絵、生花、アートフラワー、籐の作品、刺し子、ミニ盆栽、飯豊支部の皆さんの手芸などなど力作ぞろいでした。手作りコーナーでは、カレンダーを使っ

てペーパーバック作りをしました。今年同窓生コーナーに、皆さんも足をお運びください。

